ロボット支援腎尿管全摘除術を受ける患者さんへ（金曜日入院・月曜日手術）

ID:　　患者氏名：　　様　　【患者様用クリニカルパス】

	入院当日	手術2日前	手術前日	手術当日 月　日		術後1日目	術後2日目	術後3～5日目	術後6日目～9日目（退院）
	月　日	月　日	月　日	手術前	手術後	月　日	月　日	月　日～　月　日	月　日～　月　日
目標	入院から退院までの経過が分かる。	手術までの経過が分かる。 心身ともに手術を受ける準備ができる。			痛みのコントロールができている。手術創に出血や感染がない。				退院後の過ごし方が分かる。
説明 指導	看護師より入院中のオリエンテーション（説明）を行います。医師から手術の説明を行います。医師からの説明後、手術や輸血の同意書にサインしていただきます。		看護師が手術のオリエンテーションを行います。		ご家族に医師から手術後の説明をします。（詳しい結果説明は外来で行います）	なるべく早期に歩いた方が傷の回復が早まります。痛い時は我慢しないで教えてください（痛み止めが使用できます）	1日に1000～1500mlの尿量を目安に1500～2000mlの水分を取りましょう。（夕食後以降は控えめに）		退院時指導を行います。（①塩分を取り過ぎないようにしましょう②水分摂取を行いましょう③規則正しい生活を送りましょう④喫煙歴がある場合、禁煙しましょう⑤血尿が見られたら受診しましょう⑥定期的に受診し異常時はすぐに連絡しましょう）
治療 処置 点滴	午後から麻酔科の診察があります。				手術中から点滴が続きます。	点滴を行います。10時と16時に抗生剤の点滴をします。点滴が終わったら点滴の管を抜きます。		量や性状をみて、医師の許可が出たらお腹の管が抜けます。	
検査	必要時血液検査を行います。				血液検査、レントゲンがあります。				膀胱の造影検査をすることがあります。
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。（中止する薬があるときは説明します）		20時にマグコロール散、21時にセンノシドという下剤を内服します。	術前に常用薬を指示通り内服します。		水分摂取開始後、医師の指示により内服薬を再開します。			
生活行動 安静度	特に制限はありません。			＿＿時頃主治医・看護師と手術室へ移動します。それまで病室で安静にしていただきます。	ベッド上で安静にしていただきます。下肢の静脈血栓予防のためフットポンプで足のマッサージをします。	医師の許可があれば歩行出来るようになります。初回歩行時は看護師が付き添います。	特に制限はありません。		
排泄				＿＿時頃浣腸をします。	手術室で尿の管とお腹の管が入ってきます。		医師の許可が出たらお腹の管を抜きます。		尿の管を抜きます。
清潔	シャワー浴ができます。			病衣を着て医師看護師と一緒に手術室に行きます。下着（パンツ）のみ着用し、アクセサリーやコンタクトレンズなど身につけているものはすべて外してください。		体拭きをします。	お腹に管が入っている間は、感染予防のため体拭きをします。 お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます。退院後は入浴ができます。		
食事	基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じて、治療食をお出しすることもあります。手術前日夕まで低残渣食を食べることができます。	手術に向けて夕食後はなにも食べないでください。水分を飲むことはできます。		なにも食べられません。＿＿時以降水分を飲むことができません。	水分を取ることはできません。口が渇いたら教えてください。	医師の許可が出たら水分摂取することができます。最初に飲むときはムセなどがないか看護師が見守ります。	医師が診察し、許可が出たら食事が開始となります。お粥から徐々に米飯になります。		約1ヶ月はアルコール類や刺激の強い食品は避けましょう。
その他				手術中、ご家族はラウンジで待機していただきます。	痛みや気分不快がありましたら看護師にお知らせください。				退院後に異常がありましたらすぐにご連絡ください。

岩手医科大学附属病院
泌尿器科